

# 一心太助の天秤棒

～前の籠には責任を、後の籠には信頼を、  
肩に担いで売り歩く～



越谷市議員 白川 ひでつぐ  
シリーズNO 50

## 駅頭は小さなドラマの連続だ！

初当選以来15年間、毎日毎朝続ける東武鉄道の市内6駅での朝、夜の駅立ちは、通算3000回を超えました。私の日々のツイッターのつぶやきから、転載したものを含め、駅前での様々な市民との出会いをエピソード集としてシリーズでお届けしています。

### お盆休みはないんですか？

今朝の駅立ちは、新越谷駅西口で午前6時から開始した。何時もの様に駅に到着して街宣用具の設置の後、駅前清掃からスタート。

今日はお盆明けのため、通勤客が平日にもどったと思っていたが、少ない様に感じた。

しかし、接近してくる台風のせい、時折強風が吹き抜けていくため、幟の看板が、客待ちのタクシーの後方に倒れてしまい、危うく車に当たる寸前だった。

このため直ちに撤収して保管したが、今度は市政レポートのスタンドも何度も倒れてしまい、市政レポートが周辺に散乱してしまい、若い女性の通勤客の方から拾い集めて頂いた。

午前8時過ぎ、馴染みの30代のサラリーマンの方から、「お盆休みはないのですか」と笑顔で尋ねられた。

えー、お盆休みだけでなく、あまり休みはないんですよ、と返事をした。

年中営業している自営業店の様なもので、営業も休みも全てセルフコントロールでやっていて、誰からも日常的には管理されてはいない。



敢えて言えば、市民の皆さんから民主的な統制を受けている、と毎日活動している。

(8月16日)



## 放置自転車問題がここにも

今朝の駅立ちは、蒲生駅東口で、通常通り午前6時から始めた。

昨日に引き続き強風が、吹き抜けていくため、市政レポート

のスタンドが倒れてしまうほどだった。

駅の入り口には、自転車用の有料の駐輪機器が設置してある。一列に数十台分が収容出来るのだが、その中には、駐輪時期を過ぎて放置状態の自転車が数台あった。

該当の自転車には撤去のための警告のラベルが貼ってあるのだが、日付は8月5日となっていた。つまり2週間以上放置されていることになる。

何らかの理由で、引き取りに出来ないのだろうが、この様な放置自転車の処分にも人手で市税が投入されている。

自転車は、通勤や買い物にも便利な道具であり、健康づくりにも役にたっているが、スマホを見ながらの運転や駐輪問題など新たな問題も浮上している。

午前8時過ぎに、毎回カンパを頂く中年サラリーマンの方から今回も2000円を頂いた。更にこちらも毎回だが、1000円のカンパを紙代にと高齢女性から頂いた。

市政レポートの配布を終了して、街宣用具を片付けていた午前8時40分過ぎに、馴染みの駅付けのタクシー運転手の方に話し掛けた。

それは先般陳情された、イオンレイクタウン店付近のケイズ電気前の交通混雑の解消の件についてだ。

陳情を受けて平日の朝7時過ぎと、土曜日の昼過ぎに調査したが、余り混雑していなかったことを報告した。

良く聞いて見ると、祝日にイオンに向かう自動車が多く、渋滞が頻繁に起こるとのことだった。

(裏へ)

## 人生を諦めざるを得ない事態に

今朝の駅立ちは、大袋駅西口で、通常通り午前6時から開始して、午前8時30分過ぎまで、取り組んだ。

午前8時過ぎ、中年の女性で自転車に乗って来て、駅入り口のエスカレーター前で、市政レポートを配布している私に近づいて来て、話し掛けられた。

25歳の娘さんが、飲食店のアルバイト店員として働いているが、社会保険や税金を引かれると、毎月の給与の手取りが13万円程しかない。

これでは生活するのが精いっぱい、人生を諦めている状態が続いている。しかもつき合っていた男性が、生活が困窮していたため生活保護の申請をして、保護支給となったのだが、収入の証明の不正（詳しくは分からなかったが）が、発覚してその返済が12万円になっている。

その男性が該当者なのに、娘も共謀(?)したとの理由で、この男性の母親から娘が全額返済するように求められて仕方なく、返済する事態になった。これが原因ですでに男性と別れた。

更にこの中年女性自身も1年前に交通事故にあって体調を壊し、満足に働くことが出来ず、ここ1年お米のごはんを食べていない、と淡々と話された。

通常なら、こんな状態を何とかして欲しいと時には激しく攻め立ててきそうなのだが、そんな場面は一度もなかった。

そうですね、格差がますます広がり、一旦こぼれ落ちたらもう戻ることも出来ないし、がんばれば何とかなる、と言う将来への希望がなくなってしまう世の中になってしまいました。

特に自治体の役割は大きいので、一緒になんとかして行きましょう、と返事をしたのだが。

また、先般新越谷駅東口の朝駅立ちで馴染みの高齢女性から陳情を受けた。それは越谷市中央市民会館3階に設置してある、給水器が3か月間も故障しており、猛暑が続く中行政の怠慢ではないのか、と。

この日、担当の市民活動支援課長さんに、陳情の内容や改善をお願いした。

今年は熱中症で、全国的に死者が続出するほどの気温の中、給水器の補修費用がないと言う理由で、修理が放置されているのは何故なのか、と。返事は追って詳しく説明して頂くことになったのだが。

(8月23日)

また、このタクシー運転手の方とは15年来の付き合いとなっているが、何と現在勤めているタクシー会社への勤務期間は52年になると言う。この業界の運転手の多くは他会社への移籍が頻繁に行われて来たのだが。

まだ蒲生駅が小さな木造りの駅舎の時代から、勤め続けていて、越谷の街並みの変化を良く知っておられ、何より議員や地域の市民の事を日ごろから教えて頂いている。(8月17日)

## 甲子園優勝選の日に新人選の大会が

今朝の駅立ちの越谷駅東口に向かうため、午前5時15分に自宅を自家用車で出発した。

先般から、娘と孫(2歳の男の子だが山口県で先日60数時間後に山中で無事発見された子と殆ど同じ歳のため、その生命力に驚かされたが)が私の自宅に里帰りしており、妻が一日中孫の世話をしているため、駅立ちの自動車運転は私自身がハンドルを握っている。

しかも毎朝午前4時30分過ぎには、起床して駅に向かうため、玄関のドアの開閉や室内で物音を立てないように厳命されている。

何時もは駅到着の後、妻が運転して一旦自宅に帰り、再び午前8時30分過ぎに迎えに来ていたが、これが出来ないため街宣用具を設置した後、最寄りの有料駐車場に駐車しなければならない。

このため、通常より少し早めに自宅を出たが、連日の猛暑が嘘のように涼しい風に包まれた。

午前7時30分過ぎ、男子高校生の一団が次々とタクシーに4人一組で乗り込んで行く。

その内の一人に尋ねて見たら、春日部東高校の一年生の野球部員との事。新人戦の野球大会が越谷市野球場で開催され試合のため向かっていて、対戦相手は、越谷市にある叡明高校。

この日は夏の甲子園大会の優勝戦、北大阪代表の大阪桐蔭高と秋田代表金足農高の熱戦の日だったが、すでに新人戦の大会が開催されているわけで、この様にして高校生は試合を蓄積しているのだろう。

午前8時30分過ぎに終了して、街宣用具を撤収していたら、工藤秀次越谷市議にお会いしたが、これから共産党の地方議員研究会に泊まりで出かけるという事だった。今はこの時期様々なセミナーや研修会が開かれている。

(8月21日)